

J R 常陸多賀駅前が開発

現在、日立市では、日立駅、大甕駅に続く新たな駅周辺地区整備事業として、常陸多賀駅周辺地区の整備事業を進めている。

2019年度に策定した整備計画を基に、改築を行う駅舎や新たに設ける東西自由通路、東口交通広場、そして駅東口へのアクセス道路などの整備に向けた測量や設計作業を行うとともに、まちの賑わい創出に向けた土地活用の検討などが進められている。

日立市長は「常陸多賀駅の更なる利便性の向上、そして常陸多賀駅周辺地区の魅力あるまちづくりに向け、引き続き、地域の皆様からのご意見等をいただきながら、事業を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます」と呼びかけている。

下左の写真は現在の常陸多賀駅周辺の空撮写真で、写真の下に見える円形のロータリー交差点は、信号のない安全性の高い交差点として、2014年に茨城県で初めて建設された「環状交差点」だ。

下右の図は、左の写真の「環状交差点」から多賀駅構内への出入りの通路をパソコン Word の図形描画の機能で作図したものだ。Cnet のパソコン教室で Word の講座の講師をつとめていたとき、受講生の皆さんと一緒に描いた。日立駅方面や山側から来た車が、駅構内への入り方、河原子、大みか方面に通り抜ける流れと共に、駅で乗客を降ろしてUターンして戻る通路が、信号機なしで車がスムーズに流れるようにうまく設計されている。Word に用意されている図形を組み合わせ、直線とフリーフォームで曲線を描くことによって作図したものだ。

←日立駅方面 (写真:FB 日立市長ダイアリーより)

大みか方面⇒

